

学習課題(中学校2年生)



【国語】

<学習内容>

教科書「月夜の浜辺」(P144～145)について、表現の特徴を捉え、言葉の響きやリズムを味わいながら繰り返し声に出して読み、この詩にふさわしい朗読の仕方を考えてみよう。

<取り組み方>

- (1) 教科書「月夜の浜辺」(P144～145)」を繰り返し声に出して読もう。
- ① 1度目は、どのような言葉が使われているのか、確かめながら読んでみよう。
 - ② 2度目は、どのような情景や心情を描いているのか、想像しながら読んでみよう。
 - ③ 3度目からは、詩のリズムや表現にどのような工夫や特徴があるか考えながら、繰り返し読んでみよう。
 - ④ ③で気づいた特徴や工夫が、心情を表現することに、どのような効果をしているか、気付いたことを書き出してみよう。
 - ⑤ この詩にふさわしい朗読の仕方について考えてみよう。
 - ・考えたことを簡単に書き出しておこう。
 - ・特に、最初に声に出して読んだ時と比べて、詩の内容に対する印象や考えが変化した点や、声に出しての読み方を変化させた点などがあれば、確実に記録しておこう。
 - ・声のトーン、抑揚、速度、間などを意識して読んでみよう。

- (2) 家の人に(1)で考えたことを伝えてから、詩の朗読を聞いてもらおう。

※(1)～(2)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※(2)について、家の人に発表するのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、声に出して発表するというだけでもかまいません。

<学習のヒント>

- 今回の学習は、詩を声に出して読むことが主となります。詩の情景などを味わいながら読んでみましょう。
- 表現の工夫には、リズム、言葉の選び方、繰り返し、説明や描写の仕方についてなどたくさんの着目点があります。
- 詩に使われている表現技法にも注目してみましょう。

☆詩は説明的な文章や小説などよりも少ない言葉で表現されることが多いです。そのため、自分で表現の特徴に気付いたり、情景などをイメージしたりしながら読むことができる場所に、詩を読む楽しさがあるかもしれません。